(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3610501号
(P3610501)
(45)発行日　平成17年1月12日(2005.1.12)　(24)登録日　平成16年10月29日(2004.10.29)

(51)Int.Cl.[7]　F I
E04F 13/08　E04F 13/08 M
E04F 13/08 P

請求項の数 3　(全 9 頁)

(21)出願番号　特願平7-119886
(22)出願日　平成7年5月18日(1995.5.18)
(65)公開番号　特開平8-312095
(43)公開日　平成8年11月26日(1996.11.26)
審査請求日　平成14年3月19日(2002.3.19)

(73)特許権者　000114086
ミサワホーム株式会社
東京都杉並区高井戸東２丁目４番５号
(72)発明者　佐賀　正幸
東京都杉並区高井戸東２丁目４番５号　ミサワホーム株式会社内

審査官　高橋　三成

(56)参考文献　特開平０７－０６２８３０（ＪＰ，Ａ）
実開昭５３－０８２５２１（ＪＰ，Ｕ）
実開平０１－０８６６３０（ＪＰ，Ｕ）
実開平０６－０７１７０５（ＪＰ，Ｕ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
E04F 13/08

(54)【発明の名称】サイディング材の取付構造

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

建物の外壁を形成する外壁基礎材の外側表面に固定されて建物の外表面を形成するサイディング材の取付構造であって、

外壁基礎材の外側表面に固定されて建物の外表面を形成する外壁基礎材固定用のサイディング材と、

外壁基礎材固定用のサイディング材を備えて形成されるサイディング付きの外壁基礎材を複数枚隣接させて形成するサイディング構造において隣り合う二枚のサイディング付きの外壁基礎材の境目を覆って建物の外表面を形成するための外壁基礎材境目用のサイディング材とを備えてなり、

外壁基礎材固定用のサイディング材は、方形をなし、建物の外表面を形成するサイディング本体部と、そのサイディング本体部の下側辺から下方へ外表面部分を延長するように延設した下方サネ部と、サイディング本体部の左右側辺においてそれぞれ左方および右方へ延設した左方サネ部および右方サネ部と、前記下方サネ部とかみ合うようにサイディング本体部の上側辺に形成した上方サネ部とを備えて形成され、

外壁基礎材境目用のサイディング材は、方形をなし、建物の外表面を形成するサイディング本体部と、そのサイディング本体部の下側辺から下方へ延設した下方サネ部と、サイディング本体部の左側辺において隣接する外壁基礎材固定用のサイディング材の右方サネ部とかみ合う左方サネ部と、サイディング本体部の右側辺において隣接する外壁基礎材固定用のサイディング材の左方サネ部とかみ合う右方サネ部と、サイディング本体部の上側辺

において上方に隣接する外壁基礎材境目用のサイディング材の下方サネ部とかみ合う上方サネ部とを備えて形成されていることを特徴とするサイディング材の取付構造。
【請求項２】
請求項１記載のサイディング材の取付構造において、
外壁基礎材固定用のサイディング材は、サイディング本体部の左右側辺に形成した対称な左方サネ部および右方サネ部を備えていることを特徴とするサイディング材の取付構造。
【請求項３】
請求項１または請求項２記載のサイディング材の取付構造において、
外壁基礎材固定用のサイディング材は、建物の外表面を形成するサイディング本体部の下側辺から外表面形成部分を延長するように下方へ延設した下方サネ部と、サイディング本体部の左右側辺における外壁基礎材の外側表面側においてそれぞれ左方および右方へ延設した対称の左方サネ部および右方サネ部と、前記下方サネ部とかみ合うようにサイディング本体部の上側辺に形成した上方サネ部とを備えて形成され、
外壁基礎材境目用のサイディング材は、建物の外表面を形成するサイディング本体部の下側辺から外表面形成部分を延長するように下方へ延設した下方サネ部と、サイディング本体部の左側辺において隣接する外壁基礎材固定用のサイディング材の右方サネ部とかみ合う左方サネ部と、サイディング本体部の右側辺において隣接する外壁基礎材固定用のサイディング材の左方サネ部とかみ合う右方サネ部と、サイディング本体部の上側辺において上方に隣接する外壁基礎材境目用のサイディング材の下方サネ部とかみ合う上方サネ部とを備えて形成されていることを特徴とするサイディング材の取付構造。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【産業上の利用分野】
この発明はサイディング材の取付構造、更に詳しくは、建物の外壁を形成する外壁基礎材の外側表面に固定されて建物の外表面を形成する外壁基礎材固定用のサイディング材、およびそのサイディング材を備えて形成されるサイディング付き外壁基礎材を複数枚隣接させて形成するサイディング構造の境目に用いる外壁基礎材境目用のサイディング材からなるサイディング材の取付構造に関する。
【０００２】
【従来の技術】
従来の技術を、図６を用いて説明する。
建物の外壁を形成する外壁基礎材５０に対し、胴縁と呼ばれるスペーサー５９を介して建物の外表面を形成する外壁基礎材固定用のサイディング材６０を固定する。隣り合うサイディング材６０，６０の境目は、コーキング材７０を埋め込むことによって防水性を確保している。
【０００３】
なお、この実施例では、外壁基礎材５０としていわゆる壁パネルを用いているが、従来の技術がこれに限られるものではない。
【０００４】
【発明が解決しようとする課題】
ところで、建物の外壁を形成する外壁基礎材５０の寸法誤差が生じる場合がある。
サイディング材６０との関係で外壁基礎材５０が小さい場合には、サイディング材６０をカットしなければならない。また、サイディング材６０との関係で外壁基礎材５０が大きい場合には、コーキング材７０を埋め込む幅を大きく取らなければならない。
【０００５】
サイディング材６０を施工現場においてカットするのは時間がかかり、好ましくない。また、コーキング材７０を埋め込む作業は防水性を確保するための作業であるため時間がかかるものであり、コーキング材７０を埋め込む幅を大きく取らなければならないことは、作業時間を更に増やすこととなり、これまた好ましくない。
【０００６】

本発明が解決すべき課題は、施工現場でのサイディング材の固定作業を簡易化することにある。
ここで、請求項１記載の発明の目的は、建物の外壁を形成する外壁基礎材の外側表面に固定されて建物の外表面を形成する外壁基礎材固定用のサイディング材やそのサイディング材を備えて形成されるサイディング付き外壁基礎材を複数枚隣接させて形成するサイディング構造において外壁基礎材固定用のサイディング材、さらにその境目に用いる外壁基礎材境目用のサイディング材の固定作業を簡易に行えるとともに、サイディング付き外壁基礎材どおしの境目の防水処理も簡易に行うことができるサイディング材の取付構造を提供することである。
【０００７】
また、請求項２記載の発明の目的は、さらに、縦方向、横方向に複数枚を隣り合わせて固定してゆくサイディング材における固定作業を簡易に行えるサイディング材の取付構造を提供することである。
また、請求項３記載の発明の目的は、さらに、製造するのが簡単なサイディング材の取付構造を提供することである。
なお、上記の課題を解決する技術を、予め日本特許情報機構（ＪＡＰＩＯ）の先行技術調査（パトリス）の利用により、以下の検索式で昭和５５年以後の特許出願、実用新案登録出願を調査し、その結果、特許出願、実用新案登録出願を併せて約６００件を抽出した。
【０００８】
検索式： Ｅ０４Ｆ１３／０８Ｎ＋Ｅ０４Ｆ１３／０８Ｍ
しかし、上記課題を解決するための手段は、発見できなかった。
【０００９】
【課題を解決するための手段】
本発明は、上記した目的を達成するためのものである。
請求項１記載のサイディング材の取付構造は、建物の外壁を形成する外壁基礎材(例えば外壁パネル10)の外側表面(11)に固定されて建物の外表面を形成するにあたって、外壁基礎材(10)の外側表面(11)に固定されて建物の外表面を形成する外壁基礎材固定用のサイディング材(20)と、外壁基礎材固定用のサイディング材(20)を備えて形成されるサイディング付きの外壁基礎材(10)を複数枚隣接させて形成するサイディング構造において隣り合う二枚のサイディング付きの外壁基礎材(10,10)の境目を覆って建物の外表面を形成するための外壁基礎材境目用のサイディング材(30)とを用いている。
外壁基礎材固定用のサイディング材(20)は、方形をなし、建物の外表面を形成するサイディング本体部(21)と、そのサイディング本体部(21)の下側辺から下方へ外表面部分を延長するように延設した下方サネ部(22)と、サイディング本体部(21)の左右側辺においてそれぞれ左方および右方へ延設した左方サネ部(23)および右方サネ部(24)と、前記下方サネ部(22)とかみ合うようにサイディング本体部(21)の上側辺に形成した上方サネ部(25)とを備えて形成されている。
外壁基礎材境目用のサイディング材(30)は、方形をなし、建物の外表面を形成するサイディング本体部(31)と、そのサイディング本体部(31)の下側辺から下方へ延設した下方サネ部(32)と、サイディング本体部(31)の左側辺において隣接する外壁基礎材固定用のサイディング材(20)の右方サネ部(24)とかみ合う左方サネ部(33)と、サイディング本体部(31)の右側辺において隣接する外壁基礎材固定用のサイディング材(20)の左方サネ部(23)とかみ合う右方サネ部(34)と、サイディング本体部(31)の上側辺において上方に隣接する外壁基礎材境目用のサイディング材(30)の下方サネ部(32)とかみ合う上方サネ部(35)とを備えて形成されている。
【００１０】
ここで、上述したサイディング材(20,30)の下方サネ部(22,32)とは、サイディング本体部(21,31)の外表面部分を延長するように延設するような形状であればよい。例えば、いわゆる雌サネとなっていてもよい。
【００１１】

【００１２】
請求項２記載のサイディング材の取付構造は、請求項１記載のサイディング材(20,30)の取付構造において、外壁基礎材固定用のサイディング材(20)は、サイディング本体部(21)の左右側辺に形成した対称な左方サネ部(23)および右方サネ部(24)を備えていることを特徴とする。
【００１３】
請求項３記載のサイディング材の取付構造は、請求項１または請求項２記載のサイディング材の取付構造において、外壁基礎材固定用のサイディング材(20)は、建物の外表面を形成するサイディング本体部(21)の下側辺から外表面形成部分を延長するように下方へ延設した下方サネ部(22)と、サイディング本体部(21)の左右側辺における外壁基礎材の外側表面側においてそれぞれ左方および右方へ延設した対称の左方サネ部(23)および右方サネ部(24)と、前記下方サネ部(22)とかみ合うようにサイディング本体部(21)の上側辺に形成した上方サネ部(25)とを備えて形成され、外壁基礎材境目用のサイディング材(30)は、建物の外表面を形成するサイディング本体部(31)の下側辺から外表面形成部分を延長するように下方へ延設した下方サネ部(32)と、サイディング本体部(31)の左側辺において隣接する外壁基礎材固定用のサイディング材(20)の右方サネ部(24)とかみ合う左方サネ部(33)と、サイディング本体部(31)の右側辺において隣接する外壁基礎材固定用のサイディング材(20)の左方サネ部(23)とかみ合う右方サネ部(34)と、サイディング本体部(31)の上側辺において上方に隣接する外壁基礎材境目用のサイディング材(30)の下方サネ部(32)とかみ合う上方サネ部(35)とを備えて形成されていることを特徴とする。
【００１４】
【作用】
請求項１記載のサイディング材の取付構造において、外壁基礎材固定用のサイディング材の作用について説明する。
すなわち、外壁基礎材固定用のサイディング材(20)は、外壁基礎材(10)の外側表面(11)の下の方から固定してゆく。ここで、請求項２記載のように、左方サネ部(23)および右方サネ部(24)を対称とすれば、サイディング材(20)の上下を間違えなければよいので、施工手順が簡略化される。
【００１５】
１枚のサイディング材(20)が固定されたら、そのサイディング材(20)の上に更にサイディング材(20)を固定してゆく。このとき、上に固定されるサイディング材(20)にはサイディング本体部(21)の下側辺から下方へ延設した下方サネ部(22)があり、下に固定されるサイディング材(20)にはサイディング本体部(21)の上側辺には上方サネ部(25)があるので、両者をかみ合わせて固定すれば縦方向に連続する２枚のサイディング材(20,20)の境目のコーキングは不要、若しくは簡単なもので済むこととなる。特に、下方サネ部(22)はサイディング本体部(21)の外表面部分を延長するように延設するような形状をなしているので、下方サネ部(22)および上方サネ部(25)をかみ合わせて固定するだけでも雨水の浸入を防ぎやすい。
【００１６】
また、左方サネ部(23)および右方サネ部(24)は、外壁基礎材境目用のサイディング材(30)の右方サネ部(34)および左方サネ部(33)とかみ合う。
ここで、外壁基礎材境目用のサイディング材の作用について説明する。
まず、外壁基礎材固定用のサイディング材(20)を固定することによってサイディング付きの外壁基礎材(10)が形成される。外壁基礎材固定用のサイディング材(20)は、サイディング付きの外壁基礎材(10)を複数枚隣接させると、隣り合う外壁基礎材(10,10)の間には、サイディングが存在せずに外側表面(11)がむき出した部分が存在することとなる。
【００１７】
次に、サイディングが存在せずに外側表面(11)がむき出した部分を覆って建物の外表面を形成するため、その境目に沿って外壁基礎材境目用のサイディング材(30)を固定していく。左方サネ部(33)および右方サネ部(34)が対称であれば、サイディング材(30)の上下を間

違えなければよいので、施工が簡易化される。
外壁基礎材(10)の外側表面(11)の下の方から１枚のサイディング材(30)が固定されたら、そのサイディング材(30)の上に更にサイディング材(30)を固定してゆく。このとき、上に固定されるサイディング材(30)にはサイディング本体部(31)の下側辺から下方へ延設した下方サネ部(32)があり、下に固定されるサイディング材(30)にはサイディング本体部(31)の上側辺には上方サネ部(35)があるので、両者をかみ合わせて固定すれば縦方向に連続する２枚のサイディング材(30,30)の境目のコーキングは不要、若しくは簡単なもので済むこととなる。特に、下方サネ部(32)はサイディング本体部(31)の外表面部分を延長するように延設するような形状をなしているので、下方サネ部(32)および上方サネ部(35)をかみ合わせて固定するだけでも雨水の浸入を防ぎやすい。

【００１８】
また、横方向に連続することとなる外壁基礎材固定用のサイディング材(20)と外壁基礎材境目用のサイディング材(30)との境目は、サイディング材(30)の左方サネ部(33)が外壁基礎材固定用のサイディング材(20)の右方サネ部(24)とかみ合い、サイディング材(30)の右方サネ部(34)が外壁基礎材固定用のサイディング材(20)の左方サネ部(23)とかみ合うので、それらをかみ合わせて固定すればその境目のコーキングは不要、若しくは簡単なもので済むこととなる。

【００１９】
次に、建物の外壁を形成する外壁基礎材(10)の寸法誤差が生じた場合について説明する。外壁基礎材固定用のサイディング材(20)との関係で外壁基礎材(10)が大きい場合または小さい場合のいずれであっても、外壁基礎材固定用のサイディング材(20)のサネ部(23,24)と外壁基礎材境目用のサイディング材(30)のサネ部(33,34)とが重なるように外壁基礎材境目用のサイディング材(30)を外壁基礎材(10)へ固定すればよい。したがって、サイディング材をカットしたり、コーキング材を丹念に固定する必要がない。

【００２０】
請求項２記載の外壁基礎材固定用のサイディング材の作用について、請求項１記載の外壁基礎材固定用のサイディング材の作用と異なる点を説明する。すなわち、請求項１記載の外壁基礎材固定用のサイディング材に比べて形状が単純にできるので、その製造が容易となる。
請求項３記載の外壁基礎材境目用のサイディング材の作用について、請求項１記載の外壁基礎材境目用のサイディング材の作用と異なる点を説明する。

【００２１】
すなわち、請求項３記載の外壁基礎材境目用のサイディング材もまた、請求項１記載の外壁基礎材境目用のサイディング材に比べて形状が単純にできるので、その製造が容易となる。

【００２２】
【実施例】
以下、本発明を実施例及び図面に基づいて、更に詳しく説明する。
ここで使用する図面は、図１乃至図５である。図１は、本発明の第一の実施例を示す組立斜視図である。図２および図３は、本発明の第一の実施例を示す水平断面図である。図４は、第二の実施例を示す水平断面図である。図５は、本発明の第三の実施例を示す組立斜視図である。

【００２３】
本実施例は、建物の外壁を形成する外壁基礎材１０に対し、胴縁と呼ばれるスペーサー１９を介して建物の外表面を形成するサイディング材２０，３０を固定する構造である。サイディング材は、外壁基礎材１０の外側表面１１に固定されて建物の外表面を形成する外壁基礎材固定用のサイディング材２０と、その外壁基礎材固定用のサイディング材２０を備えて形成されるサイディング付きの外壁基礎材１０を複数枚隣接させて形成するサイディング構造に対し、隣り合う二枚のサイディング付きの外壁基礎材１０，１０の境目を覆って建物の外表面を形成するための外壁基礎材境目用のサイディング材３０とがある。

【００２４】
外壁基礎材固定用のサイディング材２０は、外壁基礎材１０の横寸法よりもやや狭い幅の方形をなし、建物の外表面を形成するサイディング本体部２１と、そのサイディング本体部２１の下側辺から下方へ外表面部分を延長するように延設した下方サネ部２２と、サイディング本体部２１の左右側辺に形成した対称な左方サネ部２３および右方サネ部２４と、前記下方サネ部２２とかみ合うようにサイディング本体部２１の上側辺に形成した上方サネ部２５とを備えて形成されている。この外壁基礎材固定用のサイディング材２０は、建物の外表面を形成する板状部材と、その板状部材よりもやや幅広の板状部材とを重ね合わせることによって製造される。

【００２５】
外壁基礎材境目用のサイディング材３０は、方形をなし、建物の外表面を形成するサイディング本体部３１と、そのサイディング本体部３１の下側辺から下方へ外表面部分を延長するように下方へ延設した下方サネ部３２と、サイディング本体部３１の左側辺において外壁基礎材固定用のサイディング材２０の右方サネ部２４とかみ合う左方サネ部３３と、サイディング本体部３１の右側辺において外壁基礎材固定用のサイディング材２０の左方サネ部２３とかみ合う右方サネ部３４と、外壁基礎材境目用のサイディング材３０の下方サネ部３２とかみ合う上方サネ部３５とを備えて形成している。この外壁基礎材境目用のサイディング材３０は、建物の外表面を形成する板状部材と、その板状部材よりもやや幅の狭い板状部材とを重ね合わせることによって製造される。

【００２６】
次に、上記した実施例の作用および効果について説明する。
まず、外壁基礎材固定用のサイディング材２０を固定することによってサイディング付きの外壁基礎材１０が形成される。サイディング材２０は左右対称なので、固定の際には上下さえ間違えなければよい。外壁基礎材固定用のサイディング材２０は、外壁基礎材１０の横寸法よりもやや狭い幅の方形をなしているので、サイディング付きの外壁基礎材１０を複数枚隣接させると、隣り合う外壁基礎材１０，１０の間には、サイディングが存在せずに外側表面１１がむき出した部分が存在することとなる。
なお、この工程までは、施工現場と無関係とすることができるので、外壁基礎材を製造する工場にて固定しておくこともできる。

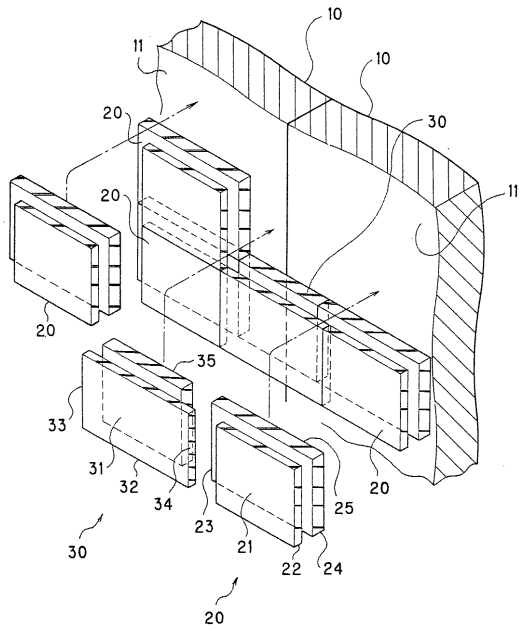
【００２７】
次に、サイディングが存在せずに外側表面１１がむき出した部分を覆って建物の外表面を形成するため、その境目に沿って外壁基礎材境目用のサイディング材３０を固定していく。左方サネ部３３および右方サネ部３４は対称なので、サイディング材３０の上下を間違えなければよい。外壁基礎材１０の外側表面１１の下の方から１枚のサイディング材３０が固定されたら、そのサイディング材３０の上に更にサイディング材３０を固定してゆく。このとき、上に固定されるサイディング材３０にはサイディング本体部３１の下側辺から下方へ延設した下方サネ部３２があり、下に固定されるサイディング材３０にはサイディング本体部３１の上側辺には上方サネ部３５があるので、両者をかみ合わせて固定すれば縦方向に連続する２枚のサイディング材３０，３０の境目のコーキングは不要、若しくは簡単なもので済むこととなる。
特に、下方サネ部３２はサイディング本体部３１の外表面部分を延長するように延設するような形状をなしているので、下方サネ部３２および上方サネ部３５をかみ合わせて固定するだけでも雨水の浸入を防ぎやすい。

【００２８】
また、横方向に連続することとなる外壁基礎材固定用のサイディング材２０と外壁基礎材境目用のサイディング材３０との境目は、サイディング材３０の左方サネ部３３が外壁基礎材固定用のサイディング材２０の右方サネ部２４とかみ合い、サイディング材３０の右方サネ部３４が外壁基礎材固定用のサイディング材２０の左方サネ部２３とかみ合うので、それらをかみ合わせて固定すればその境目のコーキングは不要、若しくは簡単なもので済むこととなる。

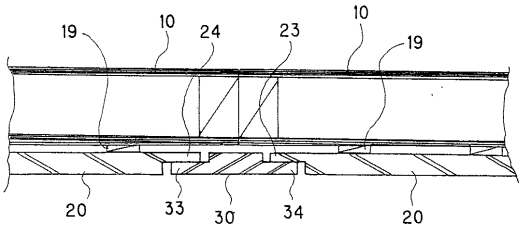
【００２９】
次に、図２および図３を参照させながら、建物の外壁を形成する外壁基礎材１０の寸法誤差が生じた場合について説明する。
外壁基礎材固定用のサイディング材２０との関係で外壁基礎材１０が小さい場合（図２）または大きい場合（図３）のいずれであっても、外壁基礎材固定用のサイディング材２０のサネ部２３，２４と外壁基礎材境目用のサイディング材３０のサネ部３３，３４とが重なるように外壁基礎材境目用のサイディング材３０を外壁基礎材１０へ固定すればよい。したがって、サイディング材をカットしたり、コーキング材を丹念に固定する必要がない。
【００３０】
サイディング材をカットすることを前提にする場合、そのカットが斜めになる場合もあるので、カットしたことがわかりにくい模様を採用することが望まれており、それがサイディング材の表面模様を決定する際の制約になっていた。しかし、サイディング材のカットが不要になることによって、そのようなデザイン上の制約がなくなった。
【００３１】
次に、図４に基づいて、第二の実施例について説明する。
図４に示す実施例では、外壁基礎材固定用のサイディング材２０のサネ部２３，２４を雌サネ部とし、外壁基礎材境目用のサイディング材３０のサネ部３３，３４を雄サネ部としている。
このように形成しても、第一の実施例と同様の作用効果を得ることができる。
【００３２】
次に、図５に基づいて、第三の実施例について説明する。
図５に示す実施例では、外壁基礎材１０に建具を取り付けるための開口部１２が設けられている場合を示している。この開口部１２に隣接するサイディング材は、開口部横用サイディング材２０Ａであり、第一の実施例にて用いた外壁基礎材固定用のサイディング材２０の水平方向寸法のみを変えたものである。ただし、開口部に用いる建具などの関係から、第一の実施例にて用いた外壁基礎材固定用のサイディング材２０の開口部１２側を適宜加工、例えば平端面に加工したものでもよい。
【００３３】
次に、上記した実施例のバリエーションについて説明する。
下方サネ部２２，３２とは、サイディング本体部２１，３１の外表面部分を延長するように延設するような形状であればよいのであるから、図１に示される実施例の他、いわゆる雌サネとなっていてもよい。
【００３４】
【発明の効果】
請求項１記載の発明によれば、建物の外壁を形成する外壁基礎材の外側表面に固定されて建物の外表面を形成する外壁基礎材固定用のサイディング材やそのサイディング材を備えて形成されるサイディング付き外壁基礎材を複数枚隣接させて形成するサイディング構造において施工現場での外壁基礎材固定用のサイディング材、さらにその境目に用いる外壁基礎材境目用のサイディング材の固定作業を簡易に行えるとともに、サイディング付き外壁基礎材どおしの境目の防水処理も簡易に行うことができるサイディング材の取付構造を提供することができた。
また、請求項２記載の発明によれば、さらに、縦方向、横方向に複数枚を隣り合わせて固定してゆく施工現場での外壁固定用のサイディング材における固定作業を簡易に行えるサイディング材の取付構造を提供することができた。
【００３５】
また、請求項３記載の発明によれば、さらに、製造するのが簡単なサイディング材の取付構造を提供することができた。
【図面の簡単な説明】
【図１】本発明の第一の実施例を示す組立斜視図である。

【図２】本発明の第一の実施例を示す水平断面図である。
【図３】本発明の第一の実施例を示す水平断面図である。
【図４】第二の実施例を示す水平断面図である。
【図５】本発明の第三の実施例を示す組立斜視図である。
【図６】従来の技術を示す水平断面図である。
【符号の説明】
１０…外壁パネル、１１…外側表面、１２…開口部、１９…スペーサー、２０…サイディング材（外壁基礎材固定用）、２０Ａ…開口部横用サイディング材、２１…サイディング本体部、２２…下方サネ部、２３…左方サネ部、２４…右方サネ部、２５…上方サネ部、３０…サイディング材（外壁基礎材境目用）、３１…サイディング本体部、３２…下方サネ部、３３…左方サネ部、３４…右方サネ部、３５…上方サネ部、５０…外壁基礎材、５９…スペーサー、６０…サイディング材、７０…コーキング材。

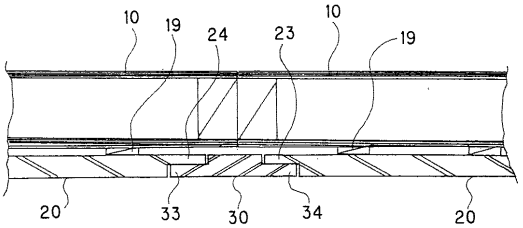
【図１】



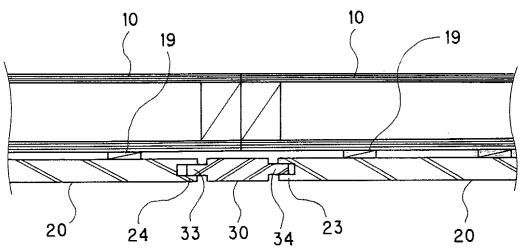
【図２】



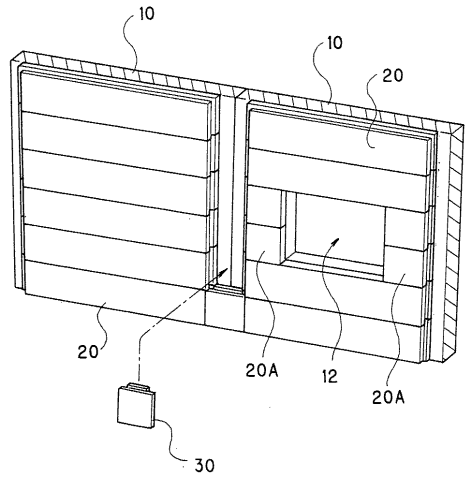
【図３】



【図４】



【図５】



【図６】

